

ただいたもので、ご一行は一橋大学にゆかりの深い水島鏡也神戸高等商業学校初代校長、田崎慎治神戸商業大学初代学長の胸像や中山正實画伯の壁画などを見学され、故人の遺徳を偲ばれました。旧三商大の流れを汲む我々は学術研究・スポーツなど幅広い分野で交流を続けていますが、今後はOB会の交流も前進させたいと考えてい

財六甲台後援会だより (23)

中山正實画伯展の開催と中山時子夫人のご逝去

六甲台講堂が出光佐三記念六甲台講堂として見事に改修されたことは皆さんもご存じの通りです。お蔭でその講堂正面に描かれていた中山正實画伯の大壁画も一層見事に映えるようになりました。平成22年度の神戸大学ホームカミングデイも10月30日にその講堂で開かれましたが、こうして講堂が改修され、多くの皆さんが参集される機会を利用して、中山画伯の油絵やエッチングなどの管理者になっているわが六甲台後援会では、10月30日から11月3日の間、アカデミア館において凌霜会との共催で中山正實展を開催し、皆さんに鑑賞して頂くようにしました。この展示に当たっては、兵庫県立美術館の学芸員・西田桐子さん（昭63文卒、平2文化科学研究科前期修了）のお世話になりました。西田さんには多くの作品の中から展示場の大きさを考慮して展示する作品を選んで頂くなど、大変ご高配を頂きました。改めてこの機会に心からお礼を申し上げたいと思



ます。寒さの中にも春の訪れを感じる昨今ですが、会員の皆さまにおかれましてはお元気に毎日をお過ごしいただき、5月の総会で一人でも多くの方々にご挨拶できることを楽しみにしています。

ます。

ところで、中山画伯の作品としては、神戸高等商業学校が神戸商業大学に昇格し、今の六甲台に新学舎を建築した後、田崎慎治学長の要請で講堂に描かれた「光明」、「富士」、「雄図」の3部作と図書館2階の「青春」などの壁画が何といたっても有名です。しかし、これ以外にも、大きな油絵が本館の貴賓室、経済学研

究科長室や会議室、それに図書館の2階と1階などに掲げられています。また、昭和52年神戸大学法・経済・経営3学部の創立75周年の記念式典に際して、中山画伯から、144点に及ぶカラーエッチングのご寄贈を頂きました。その一部は、幾つかの学部や一時はアカデミア館3階の教職員食堂「さくら」にも飾られていましたから、お眼に留められた方もおありかと思えます。

中山正實画伯は明治31年に神戸市でお生まれになり、神戸高等商業学校、東京商科大学（現

一橋大学）専攻部時代から画業に打ち込まれ、幾多の名作を残してこられた方で、昭和54年1月、81歳で逝去されました。画伯は前記の図書館の壁画から講堂の壁画完成まで満3カ年は、母校の壁画完成に尽力されましたが、同級生だった元当財団理事長の室賀国威さんが弔辞で述べておられるように、母校愛の極めて強い方でありました（「凌霄」誌262号・昭和54年2月号参照）。



《阿騎野の朝》1939年

その画伯を支えてこられた時子夫人が、残念ながら去る11月21日ご逝去になり、ご葬儀はカトリック大和八木教会（奈良）で行われました。時子夫人は先に歌集も出版され、優しい方でありました。平成21年12月2日には、改修成った六甲台講堂の壁画などを見たいと言われ来学されました。画伯ご夫妻にはお子様がいらっしゃらず、時子夫人のお兄さんのお子さん向井春子さんからは、時子夫人がこの時の六甲台講堂訪問を大変喜んでおられたことをお聞きしました。改めて皆さんと一緒に時子夫人のご冥福をお祈りしたいと思います。

ロイ・スミス館が登録有形文化財建造物に指定される手続き開始私ども六甲台後援会が事務室をロイ・スミス館に置いていることは皆さんご承知の通りです。この建物は、元は神戸で絹製品を扱う貿易会社「ジャーメン・デビス」を経営された大谷茂氏が、昭和10年に建築されたものです。戦後一時はカナデアアカデミーの女子寮となり、昭和35年にわが六甲台後援会が購入、神戸大学に功績のあったロイ・スミス教授（1878～1969）の住居として提供するとともに、事務局も設けたところです。建物はスパニッシュ風で、本館、車庫、門柱なども独特の工夫が加えられ、スミス先生亡き後、宿舍として利用された来日外国人研究者の皆さんからも、かなり高い評価を得ている建造物です。最近、兵庫県教育委員会の文化財室の方や神戸市教育委員会文化財課の方、さらには、文化庁文化財部の主任文化財調査官の来訪を受けるようになり、県文化財

室を通じて文化庁に「登録有形文化財建造物」として本館・車庫・門柱および塀を申請してはということになりました。そこで12月9日、文化財保存法第57条に規定する文化財登録原簿への登録手続きを取ることに同意書を文化庁長官宛に提出致しました。正式には決定までにまだ時間が必要で、聞くところによれば新聞発表は平成23年7月くらいになるであろうと言われています。ご承知のように、既に、わが母校本館・講堂・図書館・兼松記念館は先にこの指定を受けていますが、この度は当六甲台後援会の事務局も入っているロイ・スマス館まで有形文化財建造物として登録されることになった訳です。

大学ブランド・ランキングについて

去る11月12日に日経B Pコンサルティングが実施した見出しについての調査結果が日本経済新聞でも報道されました。これは、同社がビジネス・パーソンや中学生以上の子供のいる父母および教育関連従事者に対して、8月にアンケート調査をした結果です。調査は、各大学の認知度／認知経路、採用意向度、入学難易度や子供の進学に対する意識など49項目に及ぶことについてイメージを尋ねたものです。これによると、近畿地方では、上から京大・阪大・同志社大・関西大・立命館大・神戸大となっており、私どもも大変だと思えました。何人かの凌霄会員からは、その後事務局の方にこれについての質問もあり、自分たちの頃には考えられなかったランキングだという声もありました。特に、平成21年の調査では、このランキング

は、京大(97.9点)、阪大(77.5点)、同志社大(71.1点)、神戸大(70.7点)となつて本学は4位で、続いて立命館大(70.2点)、関西大(64.6点)、関西学院大(64.2点)等々となつていましたから、この1年間ですらに大幅に低下したことになります。なお、平成22年の関東地方のランキングは早稲田大(91.0点)、東大(89.6点)、慶應大(84.0点)、上智大(74.7点)、一橋大(72.0点)、東工大(71.8点)等々となつてゐることは一つの参考になるでしょう。

周知のように、こうした大学ランキングの調査は最近いろいろあつて、どれを正当なものとして受け止めるかについては議論の余地があります。本誌前号でも紹介しましたように、国際的にはロンドンのタイムズ社のものが有名で、それ以外でも中国の精華大学によるもの、わが国では朝日新聞出版社のものほか、週刊東洋経済、エコノミストおよび週刊ダイヤモンドの各誌でも発表しています。その意味では、これからの大学人はこの種のランキングについての発表は、当然のこととして受け止め、大学のグッド・レプティションの確保のために、研究・教育の水準向上はもとより、大学のその他の活動にも力を尽くさねばなりません。

ご寄付についてお願いとご報告

六甲台後援会では、新しい法人法改正に伴つて、目下、公益財団法人としての手続きを強力に進めています。先にふれたような大学評価の実態などを考えますと、当会も大学活性化のために今迄以

上に支援ができる体制をつくらなければなりません。本誌前号でも申し上げましたように、皆さまに当会へのご寄付をさらに強化してください。心からお願ひ申し上げます。なお、今号でご報告できるご寄付は、不惑会（昭和40年法・経済・経営学部卒業の皆さんの会）の70万円、栗本宗治様（平2・法Ⅱ）の20万円、佐藤禎雄様（昭31・法）の3万円、高崎正弘様（昭34・経営）の10万円、松岡三郎様（昭35・経済）の10万円であります。本会計年度は平成23年3月末までですが、お蔭さまで同22年4月以降、1、012万円のご寄付を頂いたことになりました。ありがとうございます。

また、毎号ご案内していますように、ご寄付の手続きは次の通りです。よろしくお願ひいたします。

◎銀行送金の場合（銀行からの連絡に時間がかかり、領収書送付が遅れないようにするため、お葉書でも電話・FAXでも結構です）から、ご送金について事務局までご一報ください。

銀行名 三井住友銀行六甲支店

口座番号 普通預金口座 4069496

口座名義 財神戸大学六甲台後援会

◎郵便振替の場合（通信欄に卒業年次と出身学部をご記入ください）

口座番号 0098019116772

口座名義 財神戸大学六甲台後援会

〒657-0068

神戸市灘区篠原北町4-11-5

財神戸大学六甲台後援会事務局

電話・FAX(078) 861-3013

